



| | | | | | | |
|--|---------|-----------|-----------|--------|--------|-----------|
| | English | 中文 | 交通アクセス・地図 | お問い合わせ | サイトマップ | サイト内検索 |
| | 受験生の方 | 広大へ留学希望の方 | 一般・地域の方 | 企業の方 | 卒業生の方 | 在学生・保護者の方 |

大学案内

入試情報

教育・学生生活

研究

社会連携

留学・国際交流

学部・大学院等

研究所・施設等

広報・報道

採用情報

校友会・同窓会

支援財団・基金

図書館・博物館等

大学病院

附属学校

[トップページ](#) > [広報・報道](#) > [報道発表・報道された広島大学](#) > [平成20年1月-12月](#) > 総合博物館 第15回公開講演会のお知らせ

総合博物館 第15回公開講演会のお知らせ

広島大学学長室広報グループ

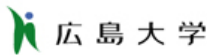
〒739-8511 東広島市鏡山 1-3-2

TEL:082-424-6017 FAX:082-424-6040

E-mail:koho@office.hiroshima-u.ac.jp

(※@は半角に置き換え送信してください。)

NEWS RELEASE



平成20年5月9日

公開講演会の開催について
ブッポウソウと広島の野鳥
 ～鳥から見た広島の生態系の現状～

広島大学の総合博物館では、第15回公開講演会(大学院総合研究科21世紀科学プロジェクト(文明と自然)と共催)を、下記のとおり開催しますのでお知らせいたします。

記

【日 時】 平成20年5月16日(金) 18:00～19:30

【場 所】 広島大学東広島キャンパス
大学院教育学研究科 K102教室(総合博物館前)

【内 容】 ブッポウソウは、有名なタンチョウやアホウドリよりも絶滅危惧のランクが高い鳥です。すでに絶滅したと思われる鳥も多く、この事実はあまり知られていません。ブッポウソウの保護は、日本で初めて1988年から広島県で始められ、現在、広島県には国内推定個体数の1/2以上に当たる200つがい以上が生息するまでに個体群が回復しました。このブッポウソウの個体数の激減と復活の話を中心に、広島県の自然環境を代表する鳥類の生態と現状をもとに、鳥という観点から広島県の生態系と自然環境の現状について講演します。

【講 師】 飯田知彦 氏
九州大学大学院プロジェクト研究員
ブッポウソウネットワーク代表
広島クマタカ生態研究会代表

【その他】 入場無料・申込不要
※5月10日～16日は、Bird Week(愛鳥週間)です。

【お問い合わせ先】
講演内容について
浅野敏久(広島大学大学院総合科学研究科 准教授)
TEL:082-424-6364
E-mail:toasano@hiroshima-u.ac.jp

会場・アクセスについて
広島大学総合博物館 担当:橋本
TEL:082-424-4212
E-mail:museum@hiroshima-u.ac.jp

(@は半角@に置き換えた上、送信して下さい。)

広大公式アカウント一覧



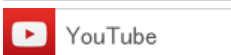
Twitter



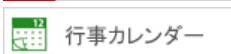
Facebook
(日本語版)



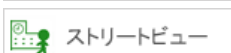
Facebook
(英語版)



YouTube



行事カレンダー



ストリートビュー



キャンパスカメラ



学内ポータル